

平成30年度事業報告書

社会福祉法人横須賀乳幼児保護会

横須賀乳幼児保護会 平成30年度事業報告

- ・社会福祉法等一部改正する法律に伴い、当法人は評議員会を設置し、4人の評議員に選任された理事6人と監事2人により、法人の運営がされている。
- ・平成30年度は、定時評議員会を1回開催した。
- ・理事会は年間7回開催し、毎理事会に理事長等の業務執行状況が報告され、理事全員への情報共有を図っている。理事会では活発な議論が展開され、今後の発展のための足掛かりになった。
- ・各園においては、大きな事故等の発生もなく落ち着いて運営がされている。
- ・社会福祉充実計画に基づき、玉成保育園の仮園舎用地調査を実施した。
園舎の基本設計及び実施設計は用地調査の進展に合わせることにし、次年度に繰越した。

① 理念

	内 容	平成30年度
利益性	保育の充実 利用者と職員の関係強化 仕事に生きがいを持ち、社会に貢献している意識を持つ	各園では日ごとにそれぞれの目標を目指し、安定した保育を実施している。
生産性	仕事の質の向上 職員の教育	園長を中心として質の向上を目指して活動している。
社会性	地域社会との連携	近隣地域との協調関係と一体を目指して。

② サービス理念

	内 容	平成30年度
サービス理念	基本的マニュアル作り チェックリスト	現在あるマニュアルの整理を行う。

③ 外部環境

	内 容	平成30年度
外部環境	社会からの高い評価 日々の保育を大切に保護者から地域へ広まっていく	実習、ボランティアの受け入れを見直した。

④ 内部環境

	内 容	平成30年度
コンプライアンス	個人情報保護	利用者の個人情報保護を職員に徹底する。
マネジメント	職員の能力 適正の把握	より良い方法を検討している。

⑤ 適正配置

	内 容	平成30年度
適正配置	職場の適正によって配置	十分な会議で決定。 職員への事前説明の必要性について検討。

⑥ 人材育成

	内 容	平成30年度
人材育成	職員の資質向上を積極的に推進し 人材育成を図る	研修への参加

⑦ 給与決定

	内 容	平成30年度
給与決定	年功序列ではない	検討中

⑧ 苦情解決

	内 容	平成30年度
苦情解決	苦情について	問題に対しては保護者と園長を中心に十分な話し合いを行う。 必要に応じてサポート委員会を開催し対応を協議する。

⑨ 利用者アンケート

	内 容	平成30年度
アンケート	県社協のアンケート	検討中

平成30年度 小光子愛育園 事業報告書

1. 名称 社会福祉法人横須賀乳幼児保護会 小光子愛育園
2. 所在地 横須賀市佐野町3-15 046-853-1760
3. 定員 99名

4. 入園状況

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	4	11	16	18	14	19	82
5月	4	11	17	18	14	19	83
6月	4	11	17	18	15	19	84
7月	4	12	17	18	15	19	85
8月	4	12	17	18	14	19	84
9月	7	12	18	18	14	19	88
10月	7	12	18	18	15	19	89
11月	7	12	18	18	15	19	89
12月	7	12	18	18	14	19	88
1月	7	12	18	18	14	19	88
2月	6	12	18	18	14	19	87
3月	6	12	18	17	14	18	85
合計	67	141	210	215	172	227	1032

※保育士配置、最低基準

- 〈乳児〉 概ね3人に1人以上
- 〈満1歳以上満3歳未満〉 概ね6人に1人以上
- 〈満3歳以上満4歳未満〉 概ね20人に1人以上
- 〈満4歳以上〉 概ね30人に1人以上

【就学先】

- ・鶴久保小学校 7名
- ・公郷小学校 2名
- ・豊島小学校 2名
- ・城北小学校 1名
- ・池上小学校 1名
- ・衣笠小学校 3名
- ・諏訪小学校 1名
- ・大楠小学校 1名

5. 職員構成

(単位：人)

職名	園長	保育士	調理員	非常勤職員				合計
				保育士	調理員	看護師	嘱託医	
職員数	1	13	2	1	1	1	2	18 (3)

6. 保育目標

クラス以外の友だちとの活動を経験するなかで好奇心・達成感などの気持ちも育ってゆく姿が見られた。絵本をじっくり見たり、好きな遊びに集中できる保育環境が大切であるということを意識できた。

7. 行事

(1)年間

行事	日時	場所
保育参観	平成 30 年 4 月 28 日	小光子愛育園保育室
歯みがき教室	〃 7 月 24 日	小光子愛育園保育室
保育自由参観	〃 6 月 19 日～20 日 10 月 25 日～26 日	小光子愛育園保育室
夏まつり	〃 7 月 14 日	小光子愛育園保育室
スポーツフェスティバル	〃 9 月 29 日	鶴久保小学校グラウンド
ベイビーズ スポフェス	〃 12 月 1 日	諏訪小学校
お泊り保育(年長児)	〃 11 月 9 日～10 日	三浦ふれあいの村
防災教室	〃 10 月 30 日	小光子愛育園保育室
交通安全教室	平成 31 年 1 月 11 日	小光子愛育園保育室
ミュージカル・フェスティバル	〃 2 月 23 日	はまゆう会館
お別れ会	〃 3 月 14 日	小光子愛育園保育室
卒園式	〃 3 月 22 日	小光子愛育園保育室

(2)月間

身体測定	毎月 1 回
避難訓練	毎月 1 回
お誕生日会	毎月 1 回
お話し会	年 4 回
内科検診	年 2 回(5 月・11 月)

歯科検診	年 1 回 (6 月)
嗜好調査	毎月 1 回
職員会議	毎月 1 回
多言語教室	毎月 1 回
音楽教室	毎月 3～4 回

8. 職員研修実施状況

職員の資質向上のために研修の機会が確保され、研修内容について職場内での報告がされ、受講内容が共有化されている。

実施日	研修内容	場所	参加者
平成 30 年 5 月 9 日 7 月 4 日 平成 31 年 1 月 30 日	幼保小教育懇談会	横須賀学院小学校	園長・保育士 2 名
平成 30 年 6 月 27 日	就学前教育と小学校 教育の連携研修講座	ヴェルクよこすかホール	保育士 1 名
平成 30 年 6 月 28 日	これからの発達支援	総合福祉会館	園長・保育士 2 名
平成 30 年 7 月 12 日	モチベーションマネ ジメント研修	神奈川県社会福祉会館	保育士 1 名
平成 30 年 8 月 22 日	小規模特定給食施設 講習会	ウェルシティ市民プラザ	園長
平成 30 年 9 月 13 日	ノロウイルス・食中 毒予防実践講習会	ウェルシティ市民プラザ	調理師 1 名
平成 30 年 11 月 7 日	乳児保育 丁寧な育児を中に	神奈川県民センターホー ル	保育士 2 名
平成 30 年 11 月 21 日	子どもを預かる施設 における深刻事故予 防・対策	総合福祉会館 7 階	保育士 2 名
平成 31 年 1 月 23 日	イライラとうまく付 き合うアンガーマネ ジメント	セントラルホテル	園長・保育士 1 名
平成 31 年 2 月 27 日	保育園等給食調理技 術講習会	田浦コミュニティセンタ ー	調理員 1 名
平成 30 年 4 月 12 日 7 月 11 日 7 月 12 日	神奈川県指定保育士 等キャリアアップ研 修	横浜市保健福祉総合 センター	保育士 1 名
平成 31 年 2 月 7 日 2 月 9・20	横須賀市保育士等 キャリアアップ研修	横須賀市生涯学習センタ ー	保育士 1 名

1月18日			
平成30年2月6日 2月13日 2月19日	同上	ヴェルク横須賀	保育士1名
平成30年3月5日 3月8日 3月14日	同上	神奈川県産業振興センター	保育士1名

9. 実習生及びボランティア受け入れ状況

(1) 実習生

平成30年6月4日～6月15日 聖ヶ丘教育福祉専門学校 1名
 平成30年9月11日～9月26日 鎌倉女子短期大学部 1名
 10月15日～10月26日 横浜リゾートアンドスポーツ専門学校 1名
 平成31年1月28日～2月8日 鶴見女子短期大学校 2名

(2) 緑ヶ丘高校保育実習

平成30年7月23日～7月28日 4名
 7月30日～8月4日 4名
 8月20日～8月25日 2名

(3) 中学生職場体験

久里浜中学校 4名 公郷中学校 5名 坂本中学校 4名
 衣笠中学校 5名 不入斗中学校 2名

10. 保育 一年を振り返って

(1) 5歳児 まつ組

年長クラスの自覚が芽生え、乳児クラスの園児に優しく接する姿等、変化が感じられた。
 世界の国旗から国の名前を覚えたり、ヒップファミリークラブでの体験で言葉の違い、文化の違いがあることなど学んでいたようだ。
 かるた遊びカードゲームは人気で1～100の数に挑戦するなど就学に向け繋がりのある活動ができた。
 お泊り保育の経験を経てクラスのつながりが強くなるなど1年の成長をかんじられた。

(2) 4歳児 ほし組

途中入園や保護者の都合で転園など入れ替わりの多いクラスだった。
 男子の割合が多いので保育に外遊びをたくさん取り入れた。
 自己主張を受け止めながら女子も活発にすごした。
 絵本が好きになり月ごとの内容を感じたまま自由に絵を描いたりする時間も大切にしました。

(3) 3歳児 ばら組

1日があっという間に過ぎる4月だったが、落ち着ける環境を設定し、それぞれのコーナーに好きな玩具で自由に遊びをたのしんでいる姿が見られた。

6月からの歯磨きは安全が保てることを優先した。歯科医療の仕事をしている保護者から歯ブラシの保管についてアドバイスをもらい改善した。

昼寝は、進級に向けて徐々に減らしてゆくことで子どもたちの午後の活動を幼児クラス担任で話し合い進めた。

(4) 2歳児 いちご組

個々の成長に欠かせない欲求の表現に対して、どのように援助していけばよいのか保育士が悩む場面がたくさんあった1年だった。

配慮の必要な園児も含め行事は日々の遊びを基本に無理のない内容にした。

生活習慣の自立に向けて簡単な衣服の着脱、トイレトレーニング、食具を使つての給食など家庭と連絡を取り合つて行った。

(5) 1歳児 ちゅうりっぷ組

月2回位、シール張りや指先・手形押しの簡単な製作を楽しんだり、夏は水遊びと足型の製作をプラスし感触遊びもできた。

野菜の嫌いな子どもが多く家庭での様子を聞きながら、給食会議もした。またアレルギーの子どもの誤食には細心の注意をし保育を進めた。

(6) 0歳児 ひよこ組

秋に兄弟園児等の入園で7人になり楽しくにぎやかな1年であった。

甘えを受け止め抱っこやおんぶ、膝の上に乗る子どもたちに囲まれ、信頼関係も深くなり成長を見守ることができた。

離乳食は、家庭で新しい食材を試してもらい園でスタートを基本にすることで順調に実施できた。

3月には他児への関心も芽生え、頭をなでたり、おもちゃをあげたり担任が間に入ることでできることが増えていった。

1 1. 食育

夏野菜のナス・ピーマン・ミニトマトの栽培。給食の食材にすることはできなかったが、大好きな活動で子どもたちの楽しみだった。2階の保育室を開放して中央に副食を配膳して自分の給食を盛り付けたり、幼児クラスの交流給食も行った。

アレルギーを持つ子どもの調理・配膳・喫食・下膳はこれからも慎重に行いたい。

平成 30 年度 小光子愛育園分園きらきら星 事業報告書

1. 名 称 小光子愛育園分園 きらきら星

2. 所在地 横須賀市日の出町 1 - 6 フォレースよこすか 2 階・3 階

3. 定 員 0 歳児 9 名 1 歳児 12 名

4. 入園状況

(単位：人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
0 歳児	5	5	5	6	6	7	7	7	7
1 歳児	11	12	12	12	12	11	13	13	13
合計	16	17	17	18	18	18	20	20	20

1 月	2 月	3 月	合計
7	7	7	76
13	13	13	148
20	20	20	224

5. 職員構成

(単位：人)

職員	園長 (※)	主任	保育士	調理員	非常勤職員			合計
					保育士	調理員	嘱託医	
職員数	1	1	8	1	1	2	2	16

(※) 本園と分園を兼任

6. 保育目標

- (1) 個々の生命の維持と情緒の安定を図る
- (2) 基本的な生活習慣を身につけられるようにする
- (3) 生活や遊びの中で物事をよく見つめ、考え、探求する心を育てる
- (4) 心身共に健康で思いやりのある子を育てる

以上の事を基本方針として保育を行っていった。保護者にとっても、子どもたちにとっても初めての保育園生活のため、出来るだけ安心して通ってもらえるよう信頼関係を築いていき、保護者と共に子育てをし、サポートしていった。小規模保育を活かし、担任だけでなく全職員が全園児を把握し協力して保育していくように努めた。子どもたちの「子どもらしい姿」を大切に、自分を思う存分に表現できる環境を整えていき、受容していく中で子ども達は日々のびのびと成長していった。

7. 保育 ～1年を振り返って～

<0歳児 ひよこ組>

初めは人見知りが激しい子や、母乳を飲んでいるため園でのミルクを全く飲まない子などバタバタの日々だったが、少しずつ子どもとの信頼関係も出来ていき、ゆっくりと落ち着いた雰囲気の中で保育することが出来た。離乳食はそれぞれの子どものペースに合わせて進めていき、秋頃からは「もっと」と欲しがるほどの食欲となった。自分で食べたい気持ちも強くなり、手づかみ食べから月齢の高い子はフォーク、スプーンも使えるようになっていった。月齢差があったため高月齢、低月齢に分けて過ごすこともあった。室内で玩具を使っの遊びも好きだが、広い場所で体を動かす方が好きで、外遊びや散歩をとっても喜んでた。クラスメイトが登園してくるとすぐに気が付き側に行ったり、7人で一か所に集まり遊んだりと日に日に仲良くなっていった。一人ひとり個性があり、様々な顔を見せてくれるのでとても楽しく、充実した一年だった。

<1歳児 ちゅうりっぷ組>

半数以上が新入園児で月齢幅が広く、最初の頃は2グループに分かれて過ごす日もあったが、比較的早い段階で園生活に慣れ、沢山お散歩に出かけるなど楽しく過ごせていた。

遊ぶことはもちろんだが、製作の時間が大好きで絵の具やクレヨン以外にも季節に合った持ち帰りの製作を取り入れ、降園時に保護者に嬉しそうに見せる姿が印象的だった。

月齢差はあるものの、互いに声をかけ合ったり、言葉の理解力があり子ども同士でのごっこ遊びが見られた。食べることが大好きでおやつや給食も何でもよく食べていた。

また、開園時間から18時迄の保育を必要とする子が多く、午前寝をする子が多かった

ものの、しっかり昼寝もしていた。元気いっぱい、毎日笑いが絶えずにぎやかなクラスだった。

＜ワンデナーサリー＞

幼稚園入園前までの子の利用が多く、4月当初は初めて母親と離れることに泣いてしまう子どもが多かったが、保護者と連携を取り、利用時間を徐々に伸ばしていく事で少しずつ慣れていけ、最後はクラスのようにまとまり過ごすことが出来た。初めは友達の輪に入れなかったり、自分の気持ちを相手に伝えられない子や、身の回りのことに手を出さない子もいたが、他児に刺激され積極的に関り、遊び、着脱を自分で行うなど一年を通して沢山の成長が見られた。食事では野菜嫌いな子が多かったが、好きなものと一緒に食べるなど工夫すると食べられるようになり、給食場と相談をしてご飯の量を調整するなど、食欲が旺盛になる。両親どちらかの方が外国籍や両親共に外国籍の子の利用もあり、子ども同士英語でやり取りするなど国際色が豊かな一年だった。

8. 給食

保育士、調理員と情報交換を密に行い、子ども達の食事の様子や食べている食材、離乳食の進み具合、食欲の変化などその都度細かく連絡を取るようにし、その時の子どもに合った食事の提供を心掛けていった。給食を楽しみにしている子どもたちが多く、ご飯やおかずの量を増やすなどしていった。アレルギーのある園児もいた為細心の注意を払いながら調理を行い、食べられる食材は出来るだけ他の子ども達と同じような形で提供していった。30年度は一時保育でアレルギーを持った子の利用は比較的少なかった。食育として子どもたちが育てたキュウリとミニ大根を子どもたち自身で収穫し、給食食材に取り入れ提供していく事で苦手な野菜を食べられるようになったり、食事への興味が増していった。

9. 特別事業

(1) 一時保育

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
126	135	150	142	81	112	140	135	117	132	147	141

(2) 休日保育

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	25	19	35	25	41	24	38	31	22	28	24

※ここ数年間の傾向として、仕事で一時保育を利用する家庭が減り、母親のリフレッシュや幼稚園や保育園入園に向けての慣らし保育として利用する家庭が増えてきている。

昨年度から引き続きベース内に住むご家庭同士での紹介を通じ、利用する家庭がさらに増えた。

また、両親共に外国人の方もいたため、利用案内やコメント用紙など英語版のものを用意するなど、対応していった。地域柄、職員の英語スキルも必要になってくると感じた。

10. 行事

(1) 年間

行事	日時	場所
入園・進級	平成30年4月2日(土)	きらきら星
保育参観 & バースデーパーティー	平成30年5月26日(土) 平成30年7月21日(土) 平成30年10月27日(土) 平成31年3月27日(水)	きらきら星
おはなし会	平成30年6月14日(木) 平成30年9月13日(木) 平成30年12月13日(木) 平成31年3月14日(木)	きらきら星
スポーツ フェスティバル	平成30年12月1日(土)	諏訪小学校 体育館
ミュージカル フェスティバル	平成31年2月23日(土)	はまゆう会館
卒園式	平成31年3月27日(水)	きらきら星

<保育参観&バースデーパーティー>

年4回に分けて季節に合わせた内容の保育参観と合わせて誕生日会を行っていった。

年齢が小さな子ども達の為、時間設定を短くし、子ども達が無理なく参加できるように考えていった。保育参観では各クラス担任が子どもの興味にあった内容を考え、行い、保護者の方と共に楽しんでいる子どもたちの姿を見ることが出来た。バースデーパーティー

では子どもたちの誕生日を、全員で温かくお祝いすることが出来、成長を共に喜ぶことのできる良い時間になったと思う。

<スポーツフェスティバル>

小光子の0，1歳児と合同で諏訪小学校の体育館を使い行った。今回はクリスマス为主题に体育館をクリスマス風に飾り付け、気分を盛り上げていった。

子ども達が出来る簡単な競技を中心に約2時間と短く時間設定をしたため、最後まで疲れすぎてしまうことなく楽しめている様子が見られた。また保護者の方と一緒に行う競技ではとても嬉しそうな表情を見せてくれ、私たちも微笑ましく、0，1歳児らしい和やかな運動会となった。

<ミュージカルフェスティバル>

小光子と合同で、はまゆう会館のホールで行った。子どもたちの好きな曲を選び、日々の保育の中で楽しみながら踊り本番を迎えた。当日は控室でもいつもの子ども達の姿を見ることができ、舞台ではこの1年で成長した姿を見せてくれとてもたくましく感じた。

<その他>

お月見、クリスマス、節分、ひなまつり等季節に合わせた行事を日々の保育活動に取り入れていった。園児だけでなく一時保育を利用している子どもたちも一緒に参加していき、賑やかな楽しい時間となった。子どもたちの様子を写真に撮り掲示したり、連絡ノートを通じて保護者の方にも見てもらえようにしていった。

(2) 月間

発育測定	毎月1回 15日(土日にあたる日は後日)
避難訓練	毎月1回 20日(土日にあたる日は後日)
内科検診	年2回
歯科検診	年1回 (6月)
職員会議	昼、夕会議 毎行事後

※年間・月間共に計画通り実施できた。

11. 職員研修

実施日	研修内容	場所	参加者
6月16日	改定保育所保育指針から ～これからの保育を考える～	神奈川県民センター ホール	保育士 2名
6月28日	子どもの行動の見方、考え方	総合福祉会館	保育士 3名
4月12日 7月11、12日	神奈川県保育士エキスパート等研修 保健衛生 安全対策	横浜市保健福祉 総合センター	保育士 1名
8月22日	特定給食施設における災害時の 栄養、食生活支援について	ウエルシティ 市民プラザ	調理員 1名
8月29日 9月12日 10月5日 11月8日 12月4日	発達コーディネーター研修	はぐくみ館 ヴェルクよこすか はぐくみ館 〃 〃	主任保育士 1名
9月11、18 19日	神奈川県保育士エキスパート等研修 食育・アレルギー対応	ユニオンビル	保育士 1名
10月1、18 29日	神奈川県保育士エキスパート等研修 保健衛生・安全対策	神奈川総合 薬事保健センター	保育士 1名
10月20、24 27日	神奈川県保育士エキスパート等研修 乳児保育	神奈川総合 薬事保健センター	保育士 1名
11月21日	子どもを預かる保育施設における 深刻事故予防・対策	総合福祉会館	主任保育士 1名 保育士 2名
1月23日	イライラとうまく付き合う アンガーマネジメント	セントラルホテル	保育士 1名
2月6、9 20日	神奈川県保育士エキスパート等研修 乳児保育	ウエルシティ すこやかん	保育士 1名

※研修に参加した職員が学んだものを園に持ち帰り、職員会議などでほかの職員に伝えたり、資料を見て共有することで保育の向上に繋げていった。

1 2. 実習及びボランティアの受け入れ状況

(1) 看護実習

神奈川衛生学園専門学校 看護学科 2年生
平成 31 年 1 月 21 日～1 月 24 日 4 名

(2) 夏季保育実習

緑ヶ丘女子高等学校 1～3 年生 保育科・普通科
平成 30 年 7 月 23 日～7 月 28 日 3 名
7 月 30 日～8 月 4 日 6 名
8 月 6 日～8 月 10 日 4 名
8 月 20 日～8 月 25 日 4 名

(3) 体験学習

平成 30 年 6 月 6 日～ 6 月 7 日	神明中学校	2 名
11 月 7 日～11 月 8 日	常葉中学校	2 名
11 月 8 日～11 月 9 日	久里浜中学校	2 名
11 月 27 日～11 月 29 日	大津中学校	2 名

平成 30 年度 玉成保育園事業報告書

1. 名 称 社会福祉法人横須賀乳幼児保護会 玉成保育園

2. 所在地 横須賀市三春町 5 - 3 2

3. 定 員 6 0 名

4. 入園状況 (年間総在籍数)

(単位 : 人)

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
6 0	1 1 8	1 3 2	1 4 2	1 4 4	1 4 1	7 3 7

5. 職員構成

(単位 : 人)

	常勤職員				非常勤職員				計
職名	園長	副園長	保育士	調理員	保育士	調理員	嘱託医	看護師	
職員数	1	1	1 0	2	3	1	2	1	1 8 (3)

6. 延長保育

(単位 : 人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
6	9	1 1	1 1	1 2	1 2	1 2	1 3	1 2	1 3	1 3	1 0

7. 健康診断

- (1) 高宮小児科 (内科健診) 5 月 1 8 日、1 1 月 2 1 日
- (2) 谷齒科医院 (歯科検診) 6 月 1 4 日
- (3) 鈴木クリニック (職員健康診断) 4 月・5 月

8. 行事

(1) 年間

行事	日時	場所
保育参観	4月・7月・3月	保育園内
クラス懇親会	6月・3月	保育園内
おとまり保育（年長児）	7月27日・28日	保育園内
スポーツフェスティバル	10月6日	山崎小学校
音楽会	11月17日	横須賀市文化会館
ミュージカルフェスティバル	2月9日	はまゆう会館
卒園式	3月20日	保育園内

(2) 月間

自由参観日	毎月1～2回	保育園内
お誕生日会	毎月	保育園内

9. 職員研修実施状況

実施日	研修内容	場所	参加者
平成30年4月13日 6月27日 7月18日	就学前教育と小学校 教育の連携講座	ヴェルクよこすか ホール	副園長
平成30年5月9日 7月4日 平成31年1月30日	幼保小教育懇談会	横須賀学院小学校	園長 保育士1名
平成30年6月28日	保育内容研修	総合福祉会館	保育士1名
平成30年9月5日	横須賀市幼稚園 教育課程研究会	横須賀市立 諏訪小学校	副園長
平成30年9月11日 9月13日 9月17日	乳児保育	神奈川県民センター ホール	保育士1名
平成30年9月27日 10月11日 10月12日	障害児保育	平塚商工会館	保育士1名

実施日	研修内容	場所	参加者
平成 30 年 11 月 14 日	保育環境を考える子ども遊び研修会	藤澤商工会議所	保育士 1 名
平成 30 年 12 月 1 日	女性部職員研修会	藤澤商工会議所	保育士 1 名
平成 30 年 12 月 10 日	施設部会保育協議会研修会	かながわ県民ホール	保育士 1 名
平成 31 年 1 月 26 日	保育研究発表会	総合福祉会館	保育士 1 名
平成 31 年 1 月 23 日	イライラとうまく付き合うアンガーマネジメント	セントラルホテル	園長 保育士 1 名

10. クラス概況

ひよこ組 (0歳児)

在園2名と4月入園3名、計5名でスタートする。入園当初は環境変化により泣いてしまう子の姿もみられたが、少しずつ慣れていき笑顔が見られるようになった。好奇心が強く製作の準備を始めると興味を示し、机の周りに集まり自ら筆やシールを持って楽しんで製作する姿がみられた。食への意欲が強く、手づかみ食で毎日完食し今は食具にも興味を持ち始めている。少しずつ自分でやりたい気持ちが芽生え、靴や衣服、食事等の場面において保育者の援助を嫌がることもあり、自分でやろうとする反面出来ないと分かると保育者に『やって!』と援助を求めるようにもなってきた。子どもの気持ちを尊重しつつ達成感を味わえるように援助を心掛けていった。指差しや喃語でのコミュニケーションから少しずつ言葉が出始め、繰り返すことで意味を理解しながら徐々に言葉でのコミュニケーションがとれるようになってきた。他児にも興味が出始め、一緒に絵本・玩具を使ったり泣いている子の頭を撫でてあげる等の姿がみられる。物の取り合い等はみられるが離し過ぎず一緒に空間にいることで他者への思いやりが出てきたように感じる。

ちゅうりっぷ組 (1歳児)

4月当初、新入園児は保護者と離れる際泣く場面がみられたが時間と共に保育園生活に慣れたことで笑顔も増え遊びの輪に入り楽しんで生活を送れるようになる。戸外遊びでは身体を動かしたことで体力をつけ又、季節の移り変わりを肌で感じ気付いたことを指差しや単語で表現し、様々な物に共感をして会話を楽しむ姿があった。食事では手づかみ食べから食具を少しずつ使えるようになり苦手な物も友達と一緒に食べることによって一口は食べられるようになる。遊びも一人遊びから集団遊びに変わる中でトラブルも起こるが自分の思いを自分なりの言葉で伝えられるようになり、模倣遊び等友達同士で楽しんで遊べるようになる。行事先は日々の積み重ねを大切に活動の一部として無理なく自然に楽しんでいた。行事では泣いてしまう場面もあったが十分に練習の成果を発揮し、行事を終える事に成長を感じることができた。

いちご組 (2歳児)

進級しても保育室が同じだったので生活面で大きな変化はなかった。10月に保育室が移動しクラス単独で過ごせる環境になったりトイレトレーニングを本格的に始めたりする中で今まで出来ていたことが出来なくなってしまう等、個々に少しずつケアの必要な部分が出てきた。一人遊び中心だった4月に比べ徐々に集団遊び、そこから男女に分かれての遊びへと変わっていった。自分の思いを言葉で伝えようとするが上手く伝えられず取り合いや押したり等のトラブルもあった。保育士が仲裁に入り話をすることで解決していった。トイレトレーニングでは家での様子を聞きながら個々のタイミングをみて進めていった。様子によってオムツに戻すこともあったが今はほとんどの子ども達がパンツでの生活になった。食事面では好き嫌い等、課題もあったが友達の影響もあり段々克服できるようになる。日々、自分で出来ることへの喜びを味わっている。1日の流れから身体だけでなく心も乳児期から幼児期へと成長していることを感じる。

ばら組 (3歳児)

2階の保育室へと環境が変わったが、特に気になる様な変化は見られず、進級した喜びを感じていた。1年を通し、自分で出来る事は自分でやってみるというチャレンジ！に心掛けた事により出来た事を保育士に伝えたり、友達同士で教えあったりと喜んだり、共感したりする姿が見られた。

1人遊びから集団遊びに変わり、ごっこ遊びや簡単なルールがあるゲーム等にも興味を持つようになり、楽しむ姿が多く見られた。その反面、トラブルも増え手が出てしまう子もいた。保育士が仲裁に入り納得すると、素直に謝る子もいるが、意地をはってしまう子もいるので対応については来年度につなげていきたい。

排泄面ではすでに自立している子も多かったので、午睡もパンツで寝れる子がほとんど。入眠もはやかったので、しっかり午睡出来ていた事もあり、起床後の機嫌もよかった。1月に入り午睡の回数も週2日になったが登園の早い子は夕食中に寝てしまう子もいたようだが、休日は午睡しない家庭も多く3月から午睡がなくなっても体力もついてきた事もあり、午後の活動も元気に過ごせた。

製作の説明や保育士が話しをしている時などは、静かにし、話を聞く姿勢を身につけられるよう声かけをしてきた。少しずつではあるが習慣になってきている様子。

ほし組 （4歳児）

4月から少しずつ取り組んできた、迷路やぬり絵を使ったハサミ練習。個人差はあるものの、線の上を切り、色々な形に切る事ができるようになった。その時によく使っていた色えんぴつは、ほし組になってからの個人教材。自分の物が嬉しく、ぬり絵をしたいという子が増えた。

ヒippoと音楽教室も、ほし組になりスタート。ヒippoは色々な国の言葉を使い、体を使ってゲームやダンス。毎回ヒippoメンバーの挨拶の時に「間違えてもいい」と、合言葉の様に言い子どもたちは、初めて聞く言葉の音を真似しながら楽しんで参加。

音楽教室はピアノの前に座り、ドキドキしながら静かにスタートしていた4月。今ではリズムのクイズや振り付け付きの歌は盛り上がっている。カスタネットも3拍子は難しかったようだが、今では、音がピタッと止まるようになった。

エプロンを持ってきて頂き、おやつをみんなで一緒に作って、一緒に同じものを食べるという楽しさ。食育の大切さを改めて実感する。

「そうなんだ!」の発見、考えを大切にしてきた。いつもと同じ事をしているようでも、少し工夫するだけで大発見に繋がると、子ども達と共に成長した1年。

まつ組 （5歳児）

進級を喜び、単独の部屋になった4月。初めての絵の具セットやよいこのがくしゅうを使つての活動は楽しんで参加しようとする姿が見られた。ワークや日常生活の中で文字や数字に興味・関心を持つ子も増え、自ら学ぼうとする姿勢も見られた。

ひまわりの種まきや蚕の飼育では、成長過程を記録し、生命の大切さを学んだ。また、虫メガネや顕微鏡を用いて観察を行い、子どもたちの中で不思議という感情を経験する事が出来た。

体を動かして遊ぶ事を好む子が多いが、活発がゆえに友達とトラブルになる事もあった。進級直後は保育士が仲裁に入る事も多かったが、次第に子ども同士で話し合い、どうしたら解決出来るのかを自ら導き出せるようになってきた。

行事では乳児クラスの子どもたちにも年上の自覚を持って優しく接したりお世話をしたりする姿が見られた。また、製作等、集中力が切れてくると立ち歩いたり保育士の話が聞けない等、落ち着きがない様子も多く見られたが、子ども同士で声を掛け合ったり、保育士の声掛けで少しずつ改善されてきた。

(4) 個人面談

まつ組から順に個人面談の希望を随時受け付ける。
懇談会では、なかなか話せない心配事なども、担任とゆっくり話す時間をつくる。
何か問題があれば早めに対応し、解決の糸口を見い出せればと園としても考えている。今後も各クラス実地していきたいと思う。

(5) 給食

色どり、栄養バランスを考慮したメニュー作り、食べやすく、年齢に応じた配膳や調理を心掛けてきた。

食育への関心を持ってもらうために、幼児クラスでは、おやつで提供するおにぎり、のり巻き作りなどの体験を通して、食べることへの喜びを感じてもらった。

(6) スポーツ フェスティバル

10月6日 山崎小学校にて開催。

今年は天候にも恵まれ、大きなグラウンドで存分に体を動かした。サプライズ企画の玉成初！！職員リレーも盛り上がった。保護者の協力もあり大きなトラブルや怪我もなく無事に全ての競技を行うことが出来た。

クラスが上がるごとに勝負に対する思いも強くなり最後のリレーでは一人一人が一生懸命走り抜け主役だった。

1 1. 園内・外での行事の様子

(1) 自由参観日

毎月1、2回、10時～14時の間、自由に子ども達の保育園での様子を見て頂く自由参観。

普段のクラス別保育や給食の様子を見て「家では〇〇なのに園ではやってる」など、直接見て頂いたからこそ分かる園での子どもの姿。

乳児クラスでは、食事面を気にされている方も多く、食事の量やメニュー園での様子を聞かれる方が多い。

幼児クラスでは、食事面はもちろん、子ども同士の関わりや活動内容なども見てもらえる場となった。

(2) 保育参観

新年度が始まり、入園、進級おめでとう！と新しいクラスでみんなが集まり、自己紹介や親子製作などを行った。

夏は、いつもの参観とは違う夏祭り。保育園にお店屋さんがたくさん出て、子どもも保護者も一緒に楽しめる楽しいひと時。

学期末の参観では、内容はクラスによってさまざまだが、どのクラスも保護者も保育士も子どもたちの成長を感じることが出来る参観となった。

(3) クラス懇談会

今年度は、年に2回実地された。(6月・3月)

どのクラスも各ご家庭での子ども達の園での様子や心配事などを保護者と保育士が意見交換する。時には楽しかったエピソードを交えて、笑いあったりいつも、なかなかゆっくりと話が出来ない保護者同士がコミュニケーションをとる良い機会になっているようである。

(7) おとまり保育

7月27、28日、保育園内でお泊り保育を実施。毎日過ごしてきた園舎にて行うので安全に楽しく過ごせる様に取り組んだ。あんしんかんでのお祭りに参加したり、夕食のカレーやゼリー作り、花火、スイカ割り、朝ご飯のお買い物とわくわく・ドキドキの体験。いつもより広く感じる園内でたくさんの笑顔が見られ思い出の1ページとなった。また、全スタッフがローテーションでまつ組の子どもたちと関わる事が出来た。

(8) 音楽会

乳児クラスは毎日朝の会、帰りの会で無理なく練習する事で本番まで楽しみながら、取り組むことが出来た。

幼児クラスは本格的に楽器に挑戦し、乳児とはまた違う真剣な表情などが見られた。保護者も全ての子どもたちを温かく見守ってくれ優しい雰囲気の中で行う事が出来た。

(9) ミュージカル フェスティバル

2月9日、大きなイベントとなるミュージカルフェスティバルをはまゆう会館にて開催。毎日練習する中で少しずつ上手になっていった子どもたち。本番では緊張しながらも立派に舞台に立つことが出来た。終わった後も、体操として取り入れ全クラスの踊りを踊れるようになり、園児全員で楽しんでいる。

12. 季節行事

5月	こいのぼり集会
7月	七夕集会
10月	ハロウィンパーティー
12月	クリスマス会
2月	豆まき集会
3月	ひな祭り会 まつぐみお別れ会

(1) お誕生日会は毎月開催

どの行事も子ども達は楽しく参加していた。

(2) HIPPO

月1回。まつ・ほしぐみが参加。
多国語を遊びと音楽を通して楽しく学ぶ。

(3) お話し会

年4回。ボランティアの方が季節に合わせたお話を
読み聞かせに来園。乳児、幼児に分かれて参加。

1 3. 保育実習・職場体験

(1) 職場体験 (中学生)

- ① 公郷中学校 (6名) 7/5
- ② 大津中学校 (5名) 11/27~29
- ③ 馬堀中学校 (4名) 11/7~9
- ④ 大矢部中学校 (3名) 11/7~9
- ⑤ 久里浜中学校 (5名) 11/8・9
- ⑥ 不入斗中学校 (2名) 1/16~18

初日は緊張していたり、戸惑う様子も見られたが、日が経つにつれて子供達にも慣れ、充実した楽しい時間を過ごせていた。複数の学校が重なったの受け入れではあったが、トラブルもなく過ごせた。

(2) 保育実習 (緑が丘高等学校)

- 7/31~8/5 (1年生) 8/14~8/19 (2年生)
- 8/21~8/26 (3年生)

緑が丘の学生は、幼児教育コースの学生ということもあり、実習にも早く慣れ子供たちとも笑顔で接している姿が見られた。

(3) 保育実習 (大学・短大・専門学校)

- ① 横浜こども専門学校 5/14~25 (1名)
- ② 横浜短期大学 6/4~16 (1名) 9/3~15 (1名)
- ③ 田園調布学園大学 2/5~20 (1名) 2/12~26 (1名)
- ④ 聖ヶ丘教育福祉専門学校 6/4~15 (2名) 1/28~2/8 (名)
2/12~23 (1名)
- ⑤ 大原学園 2/18~3/2 (1名)
- ⑥ 帝京平成大学 8/20~9/1 (1名)
- ⑦ 鶴見短期大学 1/28~2/8 (2名)
- ⑧ 鎌倉女子短期大学 2/12~25 (1名)
- ⑨ 神奈川衛生学園専門学校 2/12~14 (4名) 2/18~22 (5名)
3/4~8 (4名)

学校や学年によって、実習目的や実習ノートの違いがあるため、内容を把握した上で各自に合わせて行った。意欲的に取り組む学生が多く、手遊びや絵本の読み聞かせ、指導案を積極的に取り組むなどの姿が見られた。